IETFにおけるQUIC, HTTP/3動向 2024

ゲーム目線のインフラエンジニア

自己紹介

- ゆき (@flano_yuki)
- インフラエンジニア

OrZ

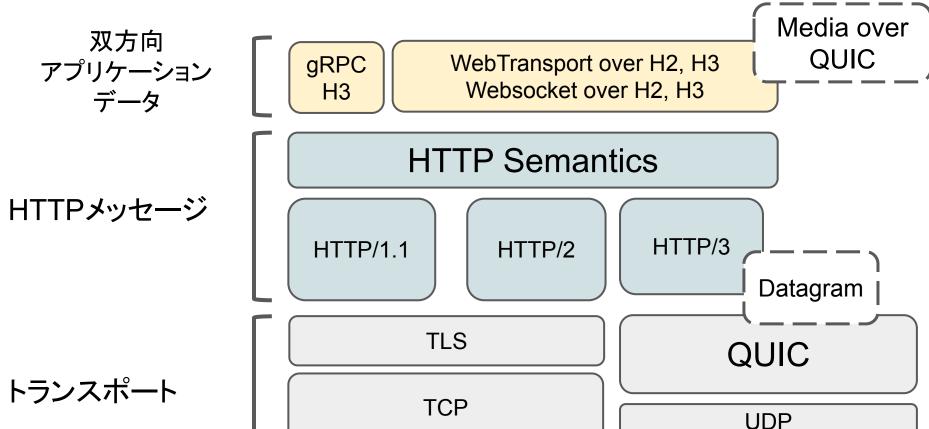
- 興味/趣味
 - Web技術
 - HTTP, QUIC, TLS, WebTransport
 - 標準化 (IETF, W3C)
- ブログ
 - https://asnokaze.hatenablog.com/



今日のお話

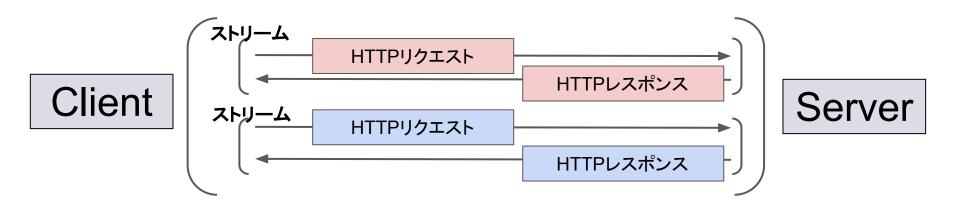
- 「プロトコル仕様好き勢」として、IETFでこんなこと話されているよというお話
- ゲーム目線を少しだけ入れてる

全体像 (アプリケーション)



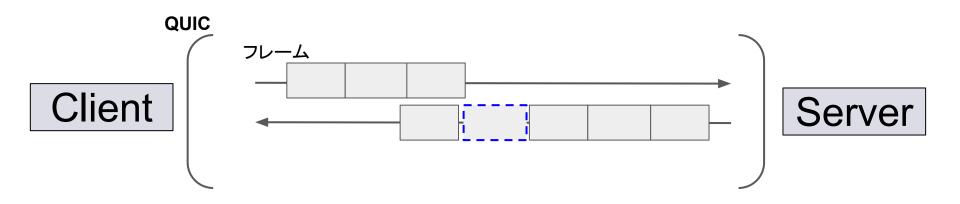
QUIC関連

- RFC 9000 QUIC
 - UDPベースの信頼性のある通信
 - アプリケーションデータはReliable + Odered
 - コネクションマイグレーション
 - HoLBの回避



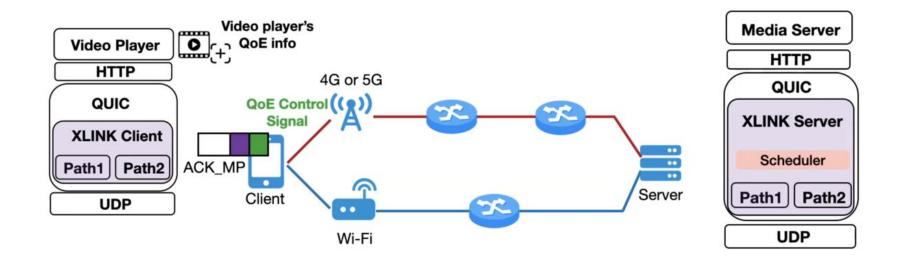
QUIC関連

- RFC 9297 Datagram
 - 信頼性のないアプリケーションデータ送信ができる
 - パケットの順番が入れ替わっても受け取った順に処理できる
 - パケロスしても送り直さなくていい



QUIC関連

- Multipath QUIC
 - Multipath TCPのように、複数の通信経路を使って通信 する。輻輳やRTTを考慮したスケジューリング



[IETF 119] Multipath QUIC

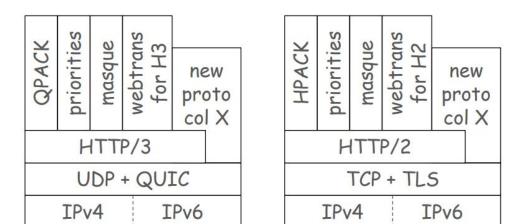
- パスIDの取り扱いで進展あり
- Explicit path identifier (#292)の提案がマージへ

[IETF 119] QUIC関連

HTTP/3 on Streams, QUIC on Stream

Sad state of application protocols

We now have to develop and maintain two different sets of stacks.

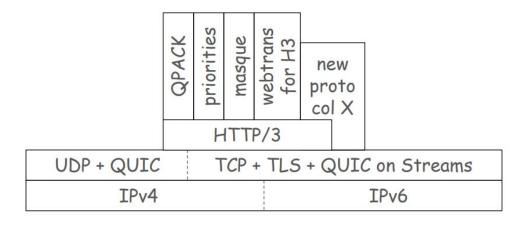


[IETF 119] QUIC関連

HTTP/3 on Streams, QUIC on Stream

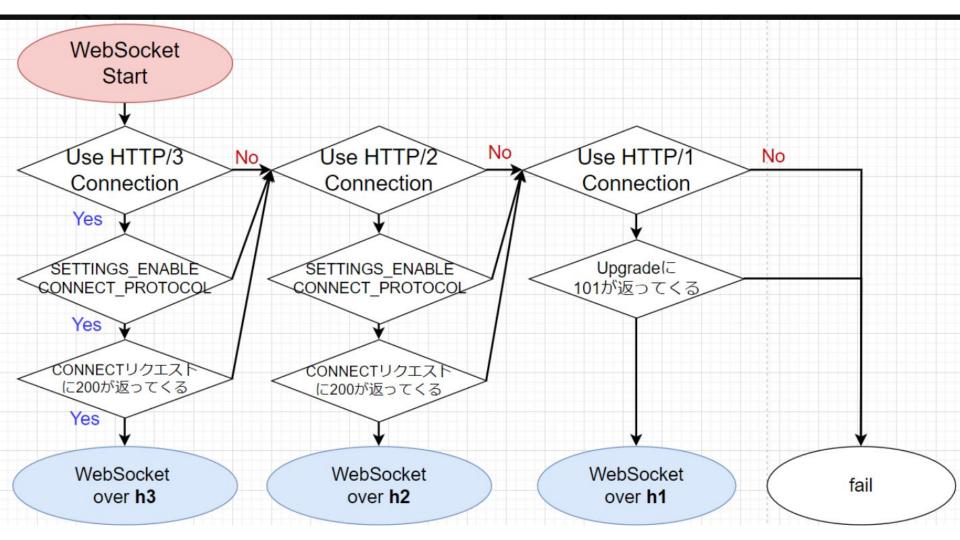
QUIC on Streams

Backport the QUIC API contract (i.e., QUIC streams) to TCP. Then, it is possible to run applications written for QUIC and HTTP/3 everywhere.



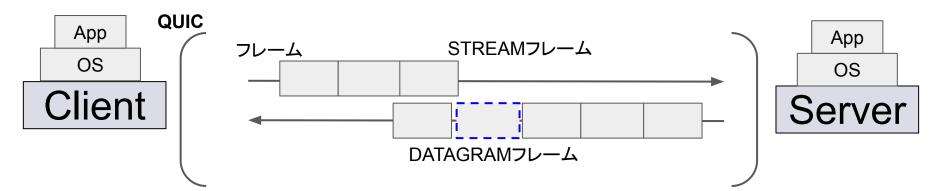
WebSocket over HTTP3

- WebSocketは仕様上、HTTP/3に対応している (RFC 9220)
 - SETTINGS_ENABLE_CONNECT_PROTOCOL が定義されているかだけの問題
- (後述) コネクション確立後に WebSocketが使えるかどうかリクエストを送るまで分からない
 - o draft-momoka-httpbis-settings-enable-websockets の話



WebTransport

- WebSocketの次世代版、HTTP/3で動作する
 - Chromeでは実装が進んでる
- 素のQUICでは、アプリケーションデータは必ず再送されます
 - パケットロスしても再送を必要としない通信を行いたい (例: ライブ動画)





Bidirectional Communication on the Web (proposed)

	Client-Server	Peer-to-peer
Reliable and ordered	WebSocket (also WebTransport!)	RTCDataChannel (WebRTC)
Reliable but unordered	WebTransport	
Unreliable and unordered		

WebTransport

- QUICの "DATAGRAM拡張" という機能を利用し、パケロスしても 再送を必要としないアプリケーションデータをやりとりできるように なる
- Twitchとかはこれを、配信者からのライブ動画のアップロードに利用している
- (先述の通りフォールバック先として、WebTransport over h2もある)

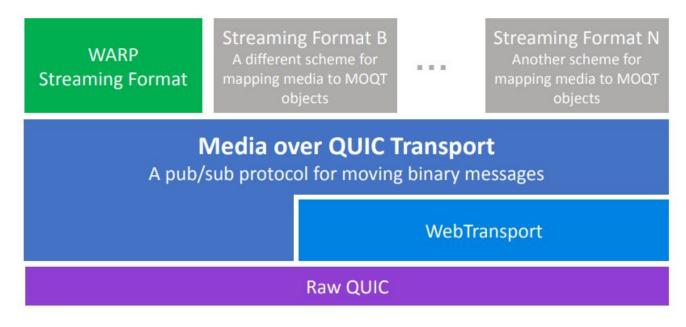
session.SendMessage([]byte("hogehoge"));

[IETF 119] WebTransport

- WebTransport over HTTP/3のディスカッションが大詰め
 - Issue整理も幾つかのこすだけ、LCが近そう
- コネクションプーリング時の、セッション内のフローコントロールについてはいくつか 提案が出ていたがオプショナルで前に進む機運

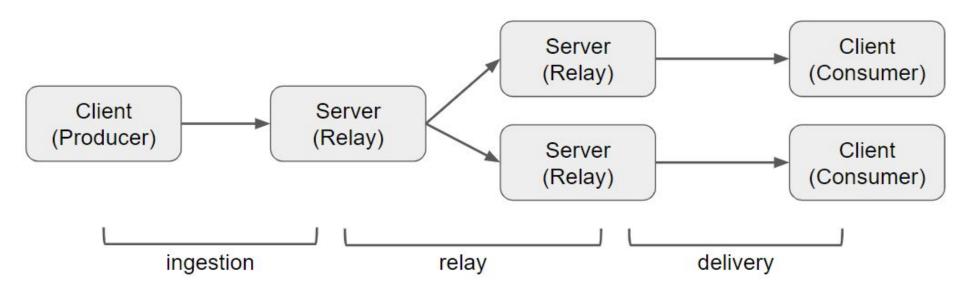
Media over QUIC

- Twitch, Meta, Google, Cisco, Akamaiなどの方々を含め標準化中
- QUIC上でメディアデータを流す



Media over QUIC Transport

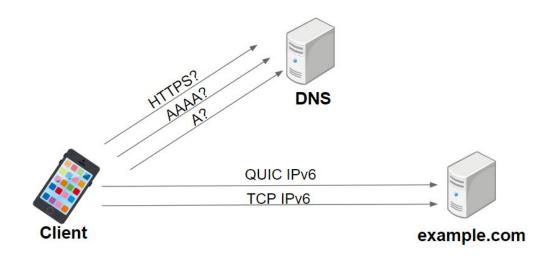
- 動画のアップロード (ingestion)
- 動画の視聴 (delivery)
- CDNなどによる中継 (relay)



ゲーム系インフラエンジニア目線としておもうこと

HappyEye Ball v3

- HappyEye Ball とは、IPv4 / IPv6を試行してコネクションが確立したものを使う 仕組み
- v3では(IPv4, IPv6) × (TCP, QUIC)を試すようになっている
 - 通常ユースでは HTTPSレコードも引くけど、アプリは普通に試行すればいいよね



https://asnokaze.hatenablog.com/entry/2023/10/26/014349

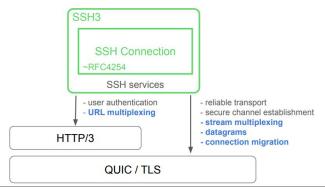
[IETF 119] HappyEye Ball v3

Disptchで議論されて、WG設立が提案される

[IETF 119] SSH3

- SSHをHTTP/3上で実行する
 - 認証はHTTPレイヤので行う
- Disptchで議論されて、BoFへ

SSH over HTTP/3 architecture



Security and transport can evolve independently from SSH, implementation focuses on SSH services

New features come along these modern protocols.